

試合番号 : 329	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 1,640			
開始時間 : 13:07	終了時間 : 15:15	試合時間 : 02:08			
主審 : 増岡 三佳子	副審 : 菅原 潤				
ブレストージ・インターナショナルアランマーレ	通算 0勝 5敗 ポイント : 0	23 第1セット 25	デンソーエアリービーズ	通算 2勝 3敗 ポイント : 7	
監督コメント ホーム開幕戦、悔しい結果となりました。第1、2セットとも、チームとしてコートの中でやりたい事を出せてはいたものの、要所要所が取り切れない展開になってしまいました。第3セットは作戦が機能し、自分達の良いリズムで試合を進め事が出来ました。第4セットは持ち味のサーブで攻めきれなかったために流れをつかむ事が出来ませんでした。明日もホームの熱い声援を力に変えて戦ってまいりますので、応援よろしくをお願いします。	1	29 第2セット 31	3	監督コメント 本日は山形での試合という事で、たくさんのバレーボールファンの方々にご来場いただき、その声援の中で試合が出来たことに、先ずは感謝申し上げます。スタートから勢いに乗るゲーム展開を作りたいかたつたのですが、アランマーレの緩急のあるスパイクとサーブに苦しい時間帯が続きました。しかしながら、試合中にしっかりとコミュニケーションを取り合い修正できたことは、チームにとって大きな収穫となりました。明日も全力プレーで勝利を目指しますので、引き続き熱いご声援、よろしくをお願いします。	
		25 第3セット 21			
		15 第4セット 25			
		第5セット			
要約レポート ホームゲームで初勝利を上げたいブレストージ・インターナショナルアランマーレと、シーズン序盤に勝ち星を重ねていききたいデンソーエアリービーズの試合。第1セット、試合開始から中盤まで、お互いに一進一退の攻防が続く。終盤、アランマーレは、交代が入った石盛のサーブや岡村の攻撃等で攻め立てるものの、デンソーが堅守からロザマリアにボールを集め、このセットを先取した。第2セット、序盤はデンソーのロザマリアの攻撃で先手を打つも、アランマーレがすぐに反撃。第1セット同様、お互い激しい攻防を繰り広げる。終盤までもつれたこのセットは、このままデュースに突入する。アランマーレが先行する展開でデンソーがしのぎ切り、最後はロザマリアの連続得点でこのセットも奪う。第3セット、ホームゲームでの勝利に向けて何とか巻き返しを図りたいアランマーレは、粘り強いレシーブとメソマチ、前田の攻撃で中盤を抜け出す。デンソーもロザマリア、山下にボールを集め追い上げを図るも、最後はアランマーレ・メソマチの攻撃でセットポイント奪い、このセットを奪い返す。第4セット、勢いに乗りたいたアランマーレだったが、デンソーは中元の攻撃等で序盤からリードを広げる。中盤にかけてお互いのセンターからの攻撃でサイドアウトを繰り返したが、デンソーは終盤に入って2連続ブロックポイント、中元、ロザマリアの攻撃で追いつけるアランマーレを振り切り、そのままこのゲームに勝利した。					

試合番号 : 330	試合会場 : 小真木原総合体育館	観客数 : 1,640			
開始時間 : 16:00	終了時間 : 17:29	試合時間 : 01:29			
主審 : 桑原 健輔	副審 : 伊藤 薫				
NECレッドロケッツ	通算 3勝 2敗 ポイント : 9	22 第1セット 25	久光スプリングス	通算 6勝 1敗 ポイント : 18	
監督コメント 本日もたくさんの応援ありがとうございました。チーム一丸となって挑んだ試合でしたが、残念な結果となってしまいました。試合の中で流れを掴めるタイミングがあったのですが、自チームの失点によりチャンスを手放すことが多く、最後まで波に乗り切れませんでした。今日の敗戦を受け止め、明日に向けて修正して挑みたいと思います。明日もたくさんの応援をよろしくをお願いします。	0	19 第2セット 25	3	監督コメント まずは自分たちのバレーボールを展開することを大事にして、戦っていきましょう！と準備して試合に臨んだ。ディフェンスでは、相手の状況によって、しっかり対応できていたし、オフェンスも相手から点数をどうやって取るかを考えて、プレーすることができていた。こちらの思った展開が多く作れたのは良かったので、明日の試合もこの勢いをつなげたい。本日も寒い中、たくさんの応援ありがとうございました。明日も応援よろしくをお願いします。	
		17 第3セット 25			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 現在2位の久光スプリングスと3位のNECレッドロケッツ、上位同士の対戦。第1セット、久光が長岡、アダムのスパイクでリードを奪う。中盤はお互いにサイドアウトを奪い合う展開となったが、終盤、NEC・アチャラポーンのスパイクで追い上げるも届かず、このセットを久光が奪う。第2セット、久光が効果的なサーブとトータルディフェンスで繋いだボールを平山、アダムがしっかりと得点にしてリードを広げる。NECも廣田、アチャラポーンの攻撃やドルズ、山田のブロックで追い上げを図る。終盤にかけ、粘り強く上げたレシーブをアダムが得点に結びつけた久光がそのまま押し切り、このセットも奪う。第3セット、久光は中島の2本のサーブサービスで序盤からリードを奪い、中盤以降もその勢いは止まらず、中島、アダムがスパイクを決め切り、このままストレートで久光が勝利した。					

試合番号 : 331	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 1,679			
開始時間 : 13:00	終了時間 : 14:26	試合時間 : 01:26			
主審 : 吉岡 奈々	副審 : 佐々木 伸子				
JTマーヴェラス	通算 7勝 0敗 ポイント : 20	25 第1セット 20	KUROBEアクアフェアリーズ	通算 0勝 5敗 ポイント : 2	
監督コメント 本日もたくさんの応援ありがとうございました。今シーズン最初のホームゲームということもあり、応援に来てくださる皆様ワクワクするようなゲームをしようとして、意気込んで今日のゲームに臨みました。ゲームのスタートは、オフェンスでリズムに乗れず苦しい場面はありましたが、途中で出た選手の活躍もありストレートで勝ち切ることができました。まだまだ自分たちの精度を上げていく必要があるため、試合を重ねていくことで成長できるように、明日も全員でしっかりと準備をしていきたいと思っています。ホームゲームを開催するにあたり尽力してくださった皆様に感謝いたします。多くのファンの方々の声援は選手力になっています。明日も引き続き熱い応援をよろしくをお願いします。	3	25 第2セット 20	0	監督コメント 1、2セット序盤は良いかたちで入ることができたが、相手チームのサーブにサーブレシーブを崩され、攻撃が単調になってしまった。また、得点すべき局面においても、相手チームの素晴らしいディフェンスに苦しめられた。しかしながら、自分達のやろうとしたことが出来たプレーもあり、明日のゲームに繋げていきたい。本日もたくさんの応援ありがとうございました。	
		25 第3セット 13			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 全勝でトップをいくJTマーヴェラスが、KUROBEアクアフェアリーズをホームに招いての一戦。第1セット、セゼジョールのアタック、山口のサーブサービス、佐藤のブロックでKUROBEがリードする。対するJTは、サンティアゴにボールを集め同点に追いつくと、途中交代したセッター塩出が和田、田中、西川にトス散らし逆転を果たし、そのまま勢いでこのセットを取る。第2セット、KUROBEは第1セット同様好スタートを切るも、JTは、田中、小川のサーブサービス、西川のアタックで得点し徐々にKUROBEに迫る。コクラム、高橋のアタックで食い下がるKUROBEを、JTはドルズ、サンティアゴのアタックで振り切りこのセットも連取した。第3セット、JT田中は、硬軟織り交ぜた巧みな攻撃でこのセットを終始リードすると、途中交代の塩出のサーブサービスを皮切りに、西川のアタック、和田のブロックなど9連続ポイントで一気に勝負を決め、最後は小山のアタックが決まり、ホームゲームを勝利で飾った。					

試合番号 : 332	試合会場 : おおきにアリーナ舞洲 (舞洲アリーナ)	観客数 : 1,679			
開始時間 : 15:30	終了時間 : 17:00	試合時間 : 01:30			
主審 : 種元 桂子	副審 : 長崎 有紗				
トヨタ車体クインシーズ	通算 4勝 3敗 ポイント : 11	25 第1セット 23	PFUブルーキャッツ	通算 2勝 3敗 ポイント : 6	
監督コメント 本日のゲーム3-0で勝って良かったが明日のゲームにつなげられるような内容であった。相手チームのミスもあり、リズムをつかめなかったが、徐々にいい形でサーブとオフェンスが機能し勝つことができた。引き続きいいリズムと攻める気持ちを持ち、明日も戦いたいと思います。本日も応援ありがとうございました。	3	25 第2セット 22	0	監督コメント 開幕からチームが良くない状況の時に単発ミスで失点をしてしまうケースが多く、相手に得点を与えてしまう場面が目立つ。明日はまた違うゲームになると思うのでベストを尽くして戦いたい。本日もたくさんの応援をいただき、ありがとうございました。	
		25 第3セット 19			
		第4セット			
		第5セット			
要約レポート 現在5位のトヨタ車体クインシーズと、6位のPFUブルーキャッツの一戦。第1セット、PFUはジャンや志摩のアタックでリードを広げる。一方トヨタ車体は、大川のサーブサービスやハッタヤのブロックで追い上げ同点に追いつく。一進一退の攻防が続いたが、最後はハッタヤがアタックを決め、トヨタ車体が1セット目を奪う。第2セット、トヨタ車体はファンハッゲのアタックや周田のサーブサービスでリードする。PFUはジャンやサンタナのアタックやブロックで追いつけるも最後はファンハッゲがアタックを決めこのセットもトヨタ車体が取った。第3セット、後がなくなったPFUは、志摩やサンタナのアタックで得点を重ねる。トヨタ車体は鳴原のアタックやサーブサービスで中盤リードを広げる。PFUはジャンのアタックなどで追い上げるが、トヨタ車体ハッタヤがアタックを決めてストレートで勝利した。					